

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	北療育医療センター			
○保護者評価実施期間	2024年12月5日		～	2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2025年1月7日		～	2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること		工夫していることや意識的にやっている取組等		さらに充実を図るための取組等
1	子供の活動スペースが十分にあり、子供の活動に合わせた空間を確保することができる。		保育内容により、子供の状況に合わせた活動を行うため、場所の確保や補助具等を使用して活動に楽しく参加できるようにしている。		活動スペースを生かして楽しく遊べるように遊びを展開していく。必要時はパーテーション等を利用して子供に合わせた個別的な環境を確保していきます。
2	児童発達支援計画は利用者のニーズに合わせて他職種（医師・看護師・保育士・PT・OT・ST・心理師・栄養士）が連携を図りながら支援にあたっている。		児童発達支援支援計画会議は、他職種の参加を促して進めている。 児童発達支援計画以外にも他職種と情報交換の場を設けている。		定期的に担当者間で情報共有する場を設け、支援の更なる充実を図っていきます。
3	年間計画に沿って1か月に1回は避難訓練等（火災・地震・起震車体験等）を実施している。		各クラスが参加できるように設定をしている。1クラスの参加に限らず臨時登園を設け、一人でも多くの利用者親子の参加を促している。		避難訓練の日程を事前にお知らせし、利用者親子に臨時登園での参加を促していきます。 通園でより安全・安心に過ごし、非常時に職員・保護者が避難できるよう訓練をしています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること		事業所として考えている課題の要因等		改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	通園の活動内容が十分に周知できていない。		センターを利用している保護者には「北療だより」や月ごとのお便りで情報提供しているが、デジタル機器の利用ニーズに対応できていない。		利用者にも利用者以外にも活動内容がよく分かるように、ホームページ等による情報提供など広報の充実に取り組んでいきます。
2	保護者へ配布した資料の内容について、十分に理解されていないことがある。		資料や職員の説明が分かりにくい。他の関係部署が配布資料について保護者から質問されたときに、資料を把握していないため説明できないことがある。		・変更点や重要なポイントを明示するなど分かりやすい資料を作成し、職員の説明を工夫していきます。 ・関係部署でも、配布資料について保護者から質問を受けたときに適切に回答できるよう、関係部署との連携を強化していきます。

3	地域と交流する機会がない。		新型コロナウイルス感染症拡大以後、感染症対策を考慮し、地域にある小学校や保育所等と交流する機会がなく、外出の機会も減っている。		近隣での散歩等を利用して、地域と交流できる機会を設けることなど検討していきます。
---	---------------	--	---	--	--